**◆日本第四紀学会 2014 年大会**

　大会名「日本の第四紀研究最前線―2015年INQUA名古屋大会へ向けて」

主催：日本第四紀学会

シンポジウムの共催：東京大学大気海洋研究所．東京大学大学院新領域創成科学研究科

**1．大会の概要**

**会場** - 東京大学柏キャンパス（柏市柏の葉 5-1-5）　大気海洋研究所，環境棟ほか

**日程**：2014 年 9 月 5 日（金）～ 9 月 9 日（火）

**一般研究発表**： 9月7，8日

**シンポジウムⅠ**「下部－中部更新統境界 GSSP」：9月7，8日

**シンポジウムⅡ**「更新世・完新世の資源環境と人類」：9月6，7日

**シンポジウムⅢ**「プレート沈み込み境界における古地震・津波研究」：9月6日

**シンポジウムⅣ**「東アジア～北西太平洋域における第四紀の気候と環境変動」：9月6日

**シンポジウムⅤ**：「第四紀の海水準変動と地球表層プロセス」9月7，8日

**総会・表彰式**：9月7日　　**懇親会**：9月7日

**プレ巡検**：9月5日　　**ポスト巡検**：9月9日



**２．会場案内**

●最寄り駅からバスで

柏キャンパスへは東武バス「国立がん研究センター」「柏の葉公園北」「東大前」「東大西」バス停のいずれかで下車。

会場へは「東大西」からが便利です（キャンパス内の配置図を参照）

▶柏の葉キャンパス駅西口から（つくばエクスプレス）

東武バス　1 番のりばより　6 ～ 15 分　170 円　1 時間に 4 ～ 7 便

西柏 03　流山おおたかの森駅東口行／西柏 03　東大西行／西柏 04　江戸川台駅東口行（国立がん研究センター経由）／西柏 10　江戸川台駅東口行（みどり台中央経由）

＊西柏 10 は「柏の葉公園北」「国立がん研究センター」には停車しません。

▶柏駅西口から（JR 常磐線／東武野田線 ( 東武アーバンパークライン )）

東武バス　2 番のりばより　約 25 分　290 円　1 時間に 3 ～ 6 便

西柏 01　国立がん研究センター行（柏の葉公園経由）

▶流山おおたかの森駅東口から（つくばエクスプレス／東武野田線 ( 東武アーバンパークライン )）

東武バス　1 番のりばより　約 18 分　250 円　1 時間に 1 ～ 2 便

西柏 03　国立がん研究センター行

＊便数が少ないので、ご注意下さい。

▶江戸川台駅東口から（東武野田線 ( 東武アーバンパークライン )）

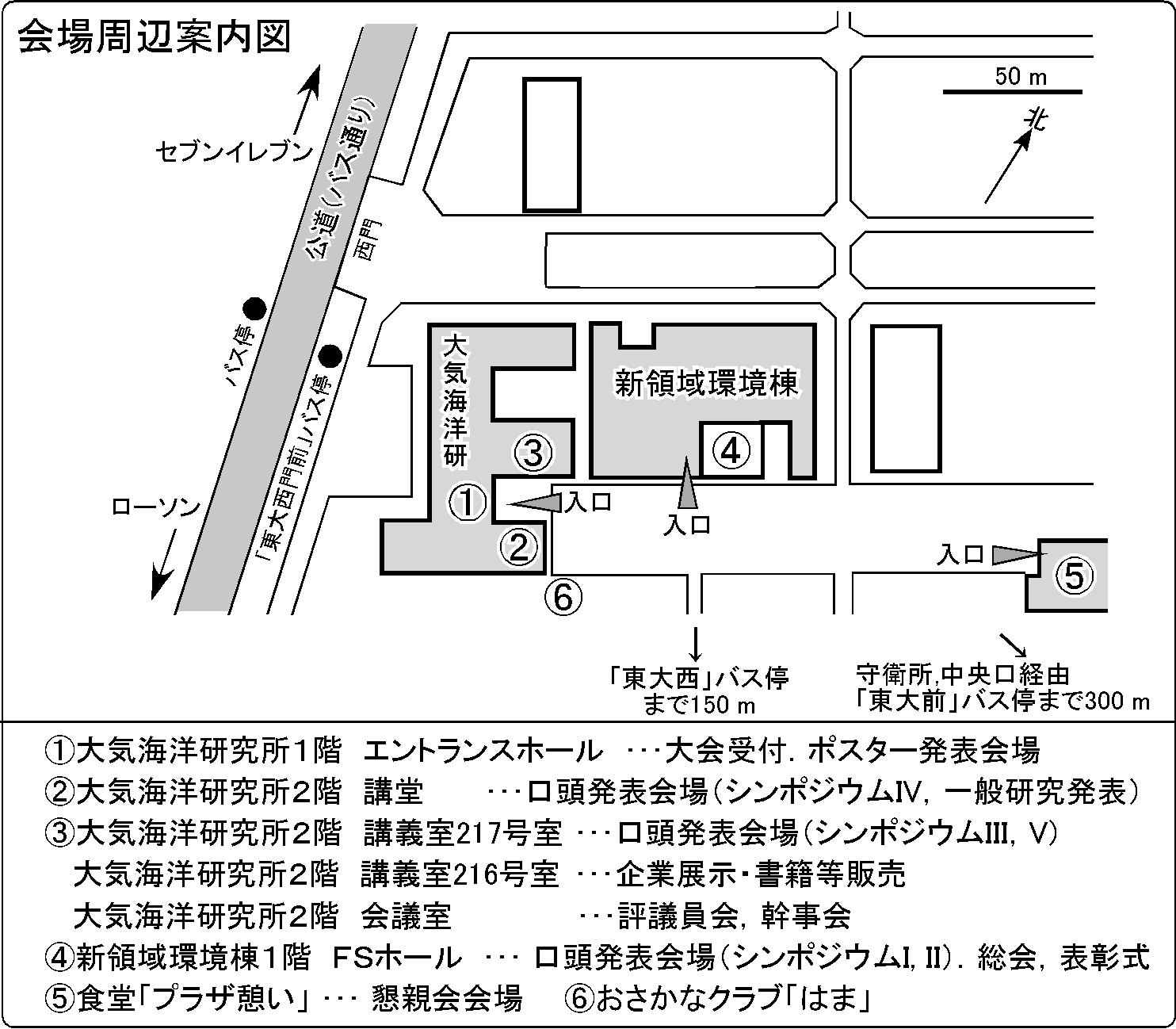
東武バス　6 ～ 10 分　190 円（西柏 04）・200 円（西柏 10）　1 時間に 2 ～ 3 便

西柏 04　柏の葉キャンパス駅西口行（国立がん研究センター経由）／西柏 10　柏の葉キャンパス駅西口行（みどり台中央経由）

●空港から高速バスで

羽田空港から　羽田空港連絡バス（東武バス・京浜急行バス）　53 ～ 78 分　1540 円

柏駅（柏駅西口）行　「国立がん研究センター」下車



・期間中の昼食について  
　9月6日（土曜）と8日（月曜）は柏キャンパス内の食堂「プラザ憩い」が利用できますが、7日（日曜）はお休みです。そこで、大気海洋研究所１階にある「お魚クラブはま」に特別メニュー（刺身の載った丼ものが700～800円）による臨時営業をお願いしました。仕入れの都合から9月6日に会場受付で前売り券を販売しますので、ご利用の方はご購入ください。なお、会場の最寄りの商店はキャンパス西門を出て左のローソン、右のセブンイレブンとなります（それぞれ徒歩で往復10分程度）。この他、来場前に駅周辺で購入する等もご検討ください。

**３．発表要領**

●口頭発表

・一般研究発表、各シンポジウムの一般申し込みの発表、および招待講演の一部は、発表 12 分、質疑応答 3 分です。この他、各シンポジウムの招待講演は主に発表 25 分、質疑応答 5 分となります。発表時間の厳守をお願いいたします。

・会場のプロジェクターへの接続は、講演者ご自身が持参したパソコンを使用して下さい。これはウィルスの汚染・拡散を防ぐことを目的としています。ご理解ご協力をお願いいたします。

・パソコンのご持参が難しい方は、シンポジウム発表の場合は各コンビナーへ、一般研究発表の場合は行事企画幹事小森へご相談下さい（jaqua2014(at)gmail.com）。また、添付のプログラムをご確認いただき、前後の発表者のパソコンを共用する等の調整を事前にとっていただくこともご検討下さい。

・OHP はありません。

●ポスター発表

・ポスターセッションは大会期間中の一日目（P1-01～P1-30）と、三日目（P2-01～P2-27）に行われます。ポスターの掲示はそれぞれの日の 9 時から 17 時までとします。会場は大気海洋研究所エントランスホールです。一日目と三日目の内容は全て入れ替わりますのでご注意下さい。

・ポスターセッションコアタイムは、9 月 6 日は 13:30 ～ 14:30、9 月 8 日は 13:20 ～ 14:20 を説明時間帯に設定しています。口頭発表会場でのポスターのショート・サマリー発表はありません。

・ポスターボードの大きさは最大で幅 90cm ×縦 140cm となります（A0 版を推奨）。添付用のテープ類は会場で貸し出します。

・ポスターには発表番号・発表題名・発表者名をタイトルとして明記して下さい。発表番号は本メールに添付のプログラムを参照して下さい。

・ポスターは指定されたボード（発表番号が示されています）に掲示して下さい。ポスター会場にはコンピューターなどを使用するための電源はありません。

**４．参加費・懇親会申し込み等**

●大会参加費：2,000 円（会員・非会員を問わず）。会場受付でお支払い下さい。

　ただし、大学院生の会員は 1,500 円、70 歳以上の会員と学部学生、シンポジウム依頼講演者は無料です。

●講演要旨集：予定価格 2,000 円（会場で直接販売）

●懇親会：　日時：9月7日（日）18時 ～20時　会場：東京大学柏キャンパス内「プラザ憩い」

　会費：一般 6,000 円、学生 2,500 円

**５．巡検の概要**

●プレ巡検

「更新世前期－中期境界の国際模式ポイント候補地の巡検－房総半島養老川（千葉セクション）－」

・日　程：2014 年 9 月 5 日（金）

・案内者：風岡　修、岡田　誠、他

・参加費：4500円（資料代・弁当代込み）

・巡検ルート：東大柏キャンパス，JR五井駅 → 11:00 国際模式ポイント候補地（市原市田淵、国本層 Byk zone とGSSP 候補地周辺）→ 12:30 昼食（田淵会館の使用予定（交渉中））→ 13:30 市原市折津（養老川に架かる橋より梅ヶ瀬層上部の遠望）→ 14:00 養老渓谷（大多喜町葛藤、大田台層上部～梅ヶ瀬層下部）→ 15:30 粟又の滝（大多喜町粟又、黄和田層中部 Kd18 付近）→ JR 五井駅，つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅着にて解散．

・実施定員：最大 25 名（最少催行人数は 15 名．古地磁気・岩石磁気「夏の学校」と共催）

●ポスト巡検

「第四紀年代測定等最新施設見学ツアー」

・日　程：2014 年 9 月 9 日（火）

・案内者：横山祐典、田村　亨、他

・参加費：1,000円（予定．昼食は各自）

・集　合：午前10:00 東大柏キャンパス大気海洋研究所1階エントランスホール

・移　動：マイクロバス

・解　散：つくばエクスプレスつくば駅（東大柏キャンパスから変更になりました）

・巡検ルート：

10:00 大気海洋研究所 1 階エントランスホール

10:00-11:40 シングルステージ加速器質量分析装置、レーザーアブレーション高 分解能 ICP 質量分析装置、クリーンルーム、飼育室見学など

11:40-12:50 昼食（各自。平日なので学食は開いています）

12:50 つくばへバスで出発

14:00 産総研第七事業所受付到着

14:10-15:00 施設紹介・ルミネッセンス年代測定概要説明

15:00-16:30 ルミネッセンス実験室見学、実験室の見学終了後、地質標本館の見 学（各自）

16:30 地質標本館入り口前集合、バス搭乗

17:00 TXつくば駅（終点）

・定員：最大定員 20 名（当日受付は先着順・大会会場にて）

**６．大会実行委員会**

　実行委員会委員長　辻　誠一郎

　連絡先： 2014 年大会実行委員会事務局事務担当（須貝俊彦）

　　　　　〒 277-8563　千葉県柏市柏の葉 5-1-5

　　　　　東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学研究系

　　　　　Tel/Fax　04-7136-4771

　　　　　E-mail　jaqua2014(at)gmail.com　（2014年大会専用メールアドレス）

**７．発表プログラム**

**●一般研究発表**　 　　　会場：大気海洋研究所２階　講堂

**9 月 7 日（日）**

座長：中里裕臣（一般-01～05），鈴木毅彦（一般-06～09），田村糸子（一般-10～13）

一般 -01　9:00-9:15 西澤文勝・鈴木毅彦（首都大）--- 熊本県二見盆地に分布する火砕流堆積物の記載岩石学的特徴

一般 -02　9:15-9:30 中沢祐一（北海道大）--- 完新世の考古遺跡に関する黒耀石水和層年代

一般 -03　9:30-9:45 大石雅之（立正大）・下司信夫（産総研）--- 火山灰中のガラス質発泡粒子含有量は何を意味するか

一般 -04　9:45-10:00 鈴木毅彦・中島絵理・笠原天生・西澤文勝・寺口慧介（首都大）・青野道夫（サンコア）--- 立川断層帯を挟む 2 本のボーリングコアに含まれる武蔵村山市榎の前期更新世テフラ

一般 -05　10:00-10:15 田村糸子（首都大）・森 勇一（金城学院大）・田中里志（京都教育大）・宇佐美 徹（杏和高校）・津村善博・中川良平（三重県総合博物館）--- 三重県亀山地域に分布する東海層群の新第三紀 / 第四紀境界層準の広域テフラ対比

一般 -06　10:40-10:55 中里裕臣（農工研／産総研）・七山 太（産総研）--- 茂原地域の上総層群笠森層のテフラ

一般 -07　10:55-11:10 大井信三（国土地理院）・西連地信男（白方小学校）・横山芳春（地盤ネット（株））・安藤寿男（茨城大）--- 茨城県涸沼周辺の更新統下総層群の層序と年代

一般 -08　11:10-11:25 雨川翔太・横山祐典・窪田 薫・関 有沙・宮入陽介（東京大）・坂井三郎（JAMSTEC）・P. Ajithprasad（マハーラージャ・サヤジラーオ大学）・前杢英明（法政大）・長田俊樹（地球研）--- 西インド、カッチ湾の化石耳石による中期−後期完新世環境復元

一般 -09　11:25-11:40 川幡穂高・山下宗佑（東京大）・山岡香子・岡井貴司・下田 玄・今井 登（産総研）--- 8 世紀の奈良平城京における重金属汚染と古代の消費社会からエコ社会への移行

一般 -10　13:30-13:45 河村善也（愛知教育大）・河村 愛（大阪市大）・村田 葵（駿台予備校）--- 本州北部の第四紀後期哺乳類化石群集についての最近の研究

一般 -11　13:45-14:00 河村 愛（大阪市大）・河村善也（愛知教育大）--- 琉球列島の第四紀後期哺乳動物群についての最近の研究

一般 -12　14:00-14:15 千葉 崇（筑波大）・澤井祐紀（産総研）--- 環境指標種群の更新と課題

一般 -13　14:15-14:30 紀藤典夫（北教大函館）・大瀧 絢（東邦システムサイエンス）・水口笑美子 --- 北海道南部におけるブナの最終氷期逃避地仮説の再検討

**9 月 8 日（月）**

　座長：佐藤智之（一般-14～17），岡崎浩子（一般-18～22），中条武司（一般-23～26）

一般 -14　9:15-9:30 北場育子・兵頭政幸（神戸大）・加藤茂弘（人と自然博）・David L. Dettman（アリゾナ大）・佐藤裕司（兵庫県立大）--- 地球磁場の弱まりがもたらした気候寒冷化とモンスーン変動

一般 -15　9:30-9:45 白濱吉起（東京大）・宮入陽介（AORI）・何 宏林（中国地震局）・傅 碧宏（中国科学院）・狩野謙一（静岡大）・越後智雄（GRI）・横山祐典（AORI）・池田安隆（東京大）--- 表面照射年代法によるチベット高原北縁 Kumkol 盆地内の気候変動に伴う段丘発達過程の復元

一般 -16　9:45-10:00 関根達夫（最終間氷期勉強会）--- 4.1 万年前、支笏火砕流堆積物（Spfl）が豊平川を堰止めて “古藤野湖” を形成した

一般 -17　10:00-10:15　 石原武志・水野清秀（産総研）--- オールコア試料とボーリング資料の解析に基づく三保半島の発達過程

一般 -18　10:40-10:55 坂本 勉（金沢大）--- 加越台地北部（橋立丘陵）沿岸部の海成段丘

一般 -19　10:55-11:10 佐藤智之（産総研）--- 各氷期における海岸線位置、古平野面の高度差と構造運動 :北海道南部勇払平野沿岸の例

一般 -20　11:10-11:25 大上隆史（中央大）--- 三陸海岸北部における遷急点を伴う河川の河床縦断形進化モデル

一般 -21　11:25-11:40 長岡大輔（琥珀舎）・古沢 仁（札幌市）・重野聖之・有賀 誠・高橋 緑・山本圭一（明治コンサルタント）・丸谷 薫（北海道立地質研）・池田隆司（元北海道大学）--- 豊平川扇状地の詳細地形の復元と湧水点（メム）の分布

一般 -22　11:40-11:55 中条武司（大阪市立自然史博）・三田村宗樹・奥平敬元（大阪市立大）・菅森義晃（鳥取大）--- 大阪府レッドリスト地形・地質版の作成とその課題

一般 -23　14:30-14:45 鈴木輝美（専修大）・苅谷愛彦（専修大）--- 御坂山地西部、四尾連湖周辺に形成された更新世後期の複数の古湖沼

一般 -24　14:45-15:00 岡田篤正（京都大）・加藤茂弘（人と自然博）・石村大輔（東北大）・山田圭太郎（京都大）・戸田 茂（愛知教育大）--- 袋状埋積谷に着目した湖北地域における伏在活断層の地下構造と形成過程

一般 -25　15:00-15:15 山田圭太郎・岡田篤正（京都大）・加藤茂弘（人と自然博）・石村大輔（東北大）--- 福井県敦賀市内池見における池見断層の形状と活動性

一般 -26　15:15-15:30 岡崎浩子（千葉中央博）・田村 亨（産総研）・中里裕臣（農工研）・郭 栄珠（土木研）・加藤久佳（千葉中央博）・石井明夫 --- GPR（地中レーダ）探査による堆積物の 3 次元解析—

**●シンポジウムⅠ「下部－中部更新統境界 GSSP」**会場：環境棟１階FSホール

**9 月 7 日（日）**

　座長：岡田 誠

S1-01　13:30-14:00 熊井久雄（大阪市立）--- L-M 境界 GSSP について

S1-02　14:00-14:30 里口保文（琵琶湖博物館）--- 日本の下部・中部更新統基準層序としての上総層群の火山灰層序

**9 月 8 日（月）**

　座長：三田村 宗樹（S1-03～08），風岡 修（S1-09～13）

S1-03　9:30-9:45 楡井 久（MGRI）--- 東京湾不整合について

S1-04　9:45-10:00 植木岳雪（千葉科学大）--- 愛知県東部、三好層の古地磁気による編年

S1-05　10:00-10:15 木村英人（東邦地水）・風岡 修（千葉県環境研）・楡井 久（IUGS-GEM）--- 千葉セクションにおける下部－中部更新統境界と Byk zone の分布状況

S1-06　10:40-11:10 亀尾浩司（千葉大）・三田 勲（日本天然ガス）・佐藤時幸（秋田大）--- 本邦中部における更新統石灰質ナノ化石層序と下部 / 中部更新統境界との関係

S1-07　11:10-11:40 風岡 修（千葉地質環境研）・岡田 誠（茨城大）・熊井久雄（大阪市大）・菅沼悠介（極地研）・楡井 久（IUGS-GEM）・吉田 剛・森崎正昭・香川 淳・荻津 達（千葉地質環境研）・亀山 瞬（千葉県環境生活部）・会田信行（秀明大）・西田尚央（産総研）・木村英人（東邦地水）--- 更新統下部－中部境界の国際模式候補地を含む上総層群国本層の Litho-Stratigraphy

S1-08　11:40-11:55 加藤茂弘（人と自然博）・兵頭政幸（神戸大）・竹下欣宏（信州大）・檀原 徹・岩野英樹（京都 FT）・坂田周平・平田岳史（京都大）--- 上総層群白尾テフラと古期御岳テフラYUT5 の対比と YUT5 の LA-ICP-MS 法による FT 年代および U-Pb 年代

S1-09　14:30-15:00 西田尚央（産総研）・風岡 修（千葉地質環境研）--- 上総層群国本層下部－中部更新統境界付近の岩相と堆積プロセス

S1-10　15:00-15:30 岡田 誠・丸岡 亨・羽田裕貴（茨城大）・菅沼悠介（極地研）・風岡 修（千葉県環境研究）--- 千葉セクションにおける Matuyama-Brunhes 極性境界の古地磁気記録

S1-11　15:30-16:00 菅沼悠介（極地研）・岡田 誠（茨城大）・堀江憲路・海田博司（極地研）・竹原真美（九州大）・仙田量子・木村純一（JAMSTEC）・川村賢二（極地研）・風岡 修（千葉県環境研）--- Byk-E（白尾）テフラの SHRIMP U-Pb 年代に基づく M-B 境界年代値の高精度決定

S1-12　16:00-16:15 兵頭政幸・北場育子（神戸大）--- MIS19 における地磁気逆転、最温暖化、最高海水準のタイミング

S1-13　16:15-16:30 竹下欣宏（信州大）・松島信幸・寺平 宏（伊那谷自然友の会）・内山 高（富士山科学研）・熊井久雄（大阪市大）--- 前期 - 中期更新世境界層準の指標テフラ層－御岳白尾テフラ－

**●シンポジウム II「更新世・完新世の資源環境と人類」**　 　会場：環境棟1階FSホール

**9 月 6 日（土）**

　座長：　座長：小野 昭（S2-01～04），工藤雄一郎（S2-05～08），羽生淳子（S2-09～13），辻誠一郎（S2-14～17）

S2-01　9:00-9:30 近藤康久（地球研）--- 生態ニッチモデルで旧石器遺跡の立地環境を評価する

S2-02　9:30-9:45 森先一貴（奈良文化財研究所）--- 更新世末の九州地方における資源環境と人間行動

S2-03　9:45-10:00 吉田明弘（明治大）--- 中部高地における旧石器時代以降の景観変化と黒耀石の獲得方法の連動性

S2-04　10:00-10:15 島田和高・橋詰 潤・吉田明弘・小野 昭（明治大）--- 長野県広原遺跡群の発掘調査と中部高地における EUP 石器群

S2-05　10:40-10:55 橋詰 潤（明治大学黒耀石研究センター）--- 更新世終末の中部・関東における狩猟具利用の変遷について

S2-06　10:55-11:25 能城修一（森林総研）--- 縄文時代における森林資源の管理と利用－その発生と、展開、終焉

S2-07　11:25-11:40 工藤雄一郎（国立歴史民博）--- 縄文時代草創期における土器の利用と古環境

S2-08　11:40-11:55 一木絵理（土浦市）・松本優衣（千葉県）・辻 誠一郎（東京大）・杉山陽亮・村木 淳・宇部則保（八戸市）・中村俊夫（名古屋大）--- 八戸・上北地域における縄文海進期の古環境と人類活動

S2-09　14:40-14:55 佐々木由香（パレオ・ラボ）--- 縄文時代の編組製品の加工技術と素材の地域性

S2-10　14:55-15:10 中山誠二（山梨県）--- 縄文時代の栽培植物と二次植生の利用

S2-11　15:10-15:25 那須浩郎（総研大）--- 縄文時代から弥生時代への移行期におけるイネと雑穀の栽培

S2-12　15:25-15:40 辻 誠一郎（東京大）--- 人為生態系としての集落生態系の研究

S2-13　15:40-15:55 吉川昌伸（古代の森研究舎）--- 縄文時代の人為生態系

S2-14　16:20-16:35 千葉敏朗（東村山ふるさと歴史館）--- 下宅部遺跡におけるウルシ林の管理技術

S2-15　16:35-16:50 安 昭炫（パレオ・ラボ）--- 青谷上寺地遺跡における弥生時代の集落生態系

S2-16　16:50-17:05 安達香織（地球研）--- 東北地方北部における縄紋時代中期－後期の地域社会と生業

S2-17　17:05-17:35 羽生淳子（地球研、UC バークレー校）--- 歴史生態学から見た生業・集落システム

**9 月 7 日（日）**

　座長：辻誠一郎

S2-18　10:40-11:10 佐瀬 隆（北方ファイトリス研究室）・細野 衛（東京自然史研究機構）--- 黒ボク土層の生成史 : 人為生態系の観点から

S2-19　11:10-11:25 小荒井 衛（国土交通大学校）・中埜貴元（地理院）・長澤良太・日置佳之（鳥取大）--- 鉄穴流しによる地形改変・植生改変箇所を航空レーザで捉える

S2-20　11:25-11:40 中村俊夫（名古屋大）・常木 晃（筑波大）--- イランの初期農耕牧畜集落 Sang-eChakhmaq 遺跡の 14C 年代

S2-21　11:40-11:55 森下瑞貴（首都大）・川東正幸（首都大）--- 相模平野に分布する埋没泥炭の分解過程－化学構造解析からの検討－

**●シンポジウムⅢ「プレート沈み込み境界における古地震・津波研究」**

　 会場：大気海洋研究所２階　講義室

**9 月 6 日（土）**

　座長：藤原 治（S3-01～05），卜部厚志（S3-06～09），鎌滝孝信（S3-10～13），吾妻　崇（S3-14～17）

S3-01　9:00-9:15 藤原 治（産総研）--- 南海トラフ東部での巨大地震に関連した地殻変動検出の試み

S3-02　9:15-9:30 佐藤善輝・藤原 治（産総研）・小野映介（新潟大）--- 浜松平野西部における完新世後期の砂州地形の発達過程

S3-03　9:30-9:45 北村晃寿（静岡大）--- 伊豆半島南部、静岡・清水平野の古地震・古津波堆積物

S3-04　9:45-10:00 林崎 涼・白井正明（首都大）--- 津波堆積物の正確な堆積年代推定における光ルミネッセンス年代測定法の有効性

S3-05　10:00-10:15 青島 晃（磐田南高校）--- 静岡県磐田市太田川河口周辺で見られる津波堆積物中の礫と砂の組成

S3-06　10:40-10:55 大谷宏治（静岡県埋蔵文化財センター）--- 静岡の遺跡から東海地震の歴史を探る

S3-07　10:55-11:10 後藤和久（東北大）・菅原大助（東北大）--- 津波堆積物を用いた古津波規模の推定にむけて

S3-08　11:10-11:25 岩田孝仁（危機管理部）--- 巨大地震・津波に備える地域防災

S3-09　11:25-11:55 入江さやか（NHK放送文化研究所）--- 放送メディアの南海トラフ巨大地震対策

S3-10　14:40-15:10 金子浩之（静岡県伊東市教育委員会）--- 歴史・考古資料に基づく明応四年（1495）関東地震の再評価

S3-11　15:10-15:25 藤村 翔（富士市立博）--- 6 世紀における富士川河口断層帯活動の可能性－富士市・沢東 A 遺跡の調査から－

S3-12　15:25-15:40 萬年一剛・金 幸隆（神奈川県温泉地学研）・松島義章（神奈川県生命の星・地球博）--- 神奈川県鎌倉市および逗子市における海岸低地の離水時期

S3-13　15:40-15:55 金 幸隆・萬年一剛（温地研）・熊木洋太（専修大）・松島義章（神奈川県生命の星・地球博）--- 関東地震の最近三回の履歴と地殻変動の蓄積 : 三浦半島南部の谷底低地の形成過程から

S3-14　16:20-16:35石村大輔（東北大）・宮内崇裕（千葉大）・早瀬亮介（加速器分析研究所）--- 岩手県山田町小谷鳥に分布する古津波堆積物と歴史津波との対比

S3-15　16:35-16:50 卜部厚志（新潟大）・山本博文・佐々木直広（福井大）・高清水康博・片岡香子（新潟大）--- 若狭湾沿いの海岸平野における津波堆積物調査

S3-16　16:50-17:05 鎌滝孝信（秋田大学）・丹羽正和（原子力機構）・生田正文（JX 日鉱日石探開）・黒澤英樹（応用地質）・高取亮一（地圏総合コンサルタント）--- 宮崎平野南部の沖積低地に記録された歴史地震の痕跡と津波堆積物

S3-17　17:05-17:20 岩本広志（関東天然瓦斯開発）・阿部裕寛（興亜開発）・東 将士（石油資源開発）・樋口茂生・稲田 晃・伊藤彰秀（千葉北高校）・上加世田 聡（NTC コンサルタンツ）・川崎健一・楠 恵子（浦安高校）・佐藤伸司（千城台高校）・品田正一（石油資源開発）・末永和幸（地球システム科学）・渡邉拓美 --- 東京湾臨海部の埋立層における地震災害事例研究

**●シンポジウムⅣ「東アジア～北西太平洋域における第四紀の気候と環境変動」**

会場：大気海洋研究所２階　講堂

**9 月 6 日（土）**

　座長：高原 光・公文富士夫（S4-01～04），池原 実・百原 新（S4-05～09），長島佳菜・山本正伸（S04-10～13），竹村恵二・公文富士夫（S4-14～16）

S4-01　9:00-9:15 公文富士夫（信州大）--- 日本周辺における第四紀後期の気候変動資料の集成と標準層序の提案 －シンポジウム IV の序を兼ねて－

S4-02　9:15-9:45 中川 毅（立命館大）--- 水月湖ダイジェスト：「名前は知ってる」人のための総集編

S4-03　9:45-10:00 木越智彦・公文富士夫（信州大）・河合小百合（元信州大）・叶内敦子（明治大）--- 花粉組成におけるモダンアナログ法の新たな表層花粉データによる、中部山岳地域における過去 16 万年間の気候変動の復元

S4-04　10:00-10:15 高原 光・河合貴則・（京都府大）・百原 新（千葉大）・佐々木尚子（京都府大）・林 竜馬（琵琶湖博）・植村善博（佛教大）・中川和哉（京都府）--- 京都府南西部亀岡盆地と神吉盆地の MIS3 層準から得られた古生態学的資料

S4-05　10:40-10:55 百原 新（千葉大）・植木岳雪（千葉科学大）・齊藤 毅（名城大）--- 新潟県魚沼層群の大型植物化石群によるカラブリアン（1.8 ～ 0.78Ma）の氷期・間氷期の古気温復元

S4-06　10:55-11:10 石川 智（名古屋大）・鹿島 薫（九州大）・篠田雅人（名古屋大）--- モンゴルにおける環境変遷史・災害発生史

S4-07　11:10-11:25 佐川拓也（九州大）--- 有孔虫複数種の Mg/Ca 古水温から探る北西太平洋～縁海の古環境

S4-08　11:25-11:40 平林頌子・横山祐典（東京大）・鈴木 淳（産総研）・川久保友太・宮入陽介（東京大）・岡井貴司（産総研）・野島 哲（九州大）--- 高緯度サンゴを用いた酸素同位体比（δ18O）と Sr/Ca比の水温復元可能性

S4-09　11:40-11:55 都築賢伍・横山祐典・川久保友太・窪田 薫・関 有沙（東京大）・荒岡大輔・鈴木 淳（産総研）--- LA-HR-ICPMS による石垣島津波石サンゴ化石を用いた古気候復元

S4-10　14:40-15:10 山本正伸（北海道大）・加 三千宣（愛媛大）・守屋和桂（金沢大）・吉森正和・阿部彩子（東京大）・竹村恵二（京都大）・池原 研（産総研）・小端拓郎（極地研）--- 別府湾堆積物コアの古水温解析にもとづく過去 2900 年間の太平洋十年規模変動の復元

S4-11　15:10-15:25 池原 実（高知大）・木元克典（JAMSTEC）--- 四国沖黒潮域における完新世の表層水温変動

S4-12　15:25-15:40 長島佳菜（JAMSTEC）・豊田 新（岡山理科大）・多田隆治（東京大）--- 完新世における偏西風－東アジア夏季モンスーンの千年スケール変動

S4-13　15:40-15:55 青木かおり（立正大）・朝日博史（釜山大）・坂本竜彦（三重大）--- ベーリング海掘削コア U1343 中の過去 240 万年間におけるテフラ粒子含有砂層の層位

S4-14　16:20-16:50 川村賢二（国立極地研）--- 極域アイスコアから見る退氷期と間氷期

S4-15　16:50-17:20 阿部彩子（東京大）--- 氷期気候－氷床－大気海洋大循環変動とその東アジアへの影響

S4-16　17:20-17:35 総合討論

**●シンポジウムⅤ「第四紀の海水準変動と地球表層プロセス」**

会場：大気海洋研究所２階　講義室

**9 月 7 日（日）**

　座長：山根雅子（S5-01～04），川幡穂高（S5-05～08），宮入陽介（S5-09 ～10）

S5-01　9:00-9:30 多田隆治（東京大）--- 東アジアモンスーンの変動とその時代変化

S5-02　9:30-9:45 久保田好美（科博）・木元克典（JAMSTEC）・多田隆治（東京大）・内田昌男（環境研）・池原 研（産総研）--- 東シナ海における最終融氷期以降の黒潮の変動

S5-03　9:45-10:00 関 有沙・横山祐典・宮入陽介・中村淳路（東京大）・鈴木 淳（産総研）・菅 浩伸（九州大）・松崎浩之（東京大）・Tezer Esat・Stephen Eggins（オーストラリア国立大）--- 放射性炭素年代測定法とウラン系列核種年代測定法を用いた日本の石筍の年代測定

S5-04　10:00-10:15 奈良郁子・渡邊隆広・掛川 武・箕浦幸治（東北大）・堀内一穂（弘前大）・宮原ひろ子（武蔵野美術大）・オブラクタスティーブン・山崎慎一・土屋範芳（東北大）・中村俊夫（名古屋大）・志知幸治（森林総研）・河合崇欣（名古屋大）--- 大陸内部湖沼堆積物に記録された最終氷期最盛期における 1000 年周期降水量変動

S5-05　10:40-11:10 大河内直彦・菅 寿美（JAMSTEC）・松崎浩之（東京大）・横山祐典（東京大）---化合物レベル 14C 年代と 10Be を用いた西南極氷床の動態研究

S5-06　11:10-11:25 吉村寿紘・若木重行・石川剛志・大河内直彦（JAMSTEC）--- ストロンチウム安定同位体比（88Sr/86Sr）の古海洋学

S5-07　11:25-11:40 山根雅子（JAMSTEC）・横山祐典・Stephen Obrochta・阿部彩子（東京大）・齋藤冬樹（JAMSTEC）・森脇喜一（元・極地研）・松崎浩之（東京大）--- 鮮新世－更新世における東南極氷床変動

S5-08　11:40-11:55 中村淳路・横山祐典・宮入陽介・松崎浩之（東京大）--- 侵食速度の氷期－間氷期変動 : 宇宙線照射生成核種の深度プロファイルによる復元

S5-09　13:30-14:00 堀 和明（名古屋大）・田辺 晋（産総研）--- 日本における近年の沖積層研究

S5-10　14:00-14:30 高田将志（奈良女子大）・島田愛子（JEOL RESONANCE）・濱田菜月（奈良女子大）・越後智雄（地域地盤）・小俣雅志・郡谷順英（クレアリア）・市川清士（駒沢大）--- 光ルミネッセンス法による変質したサンゴの年代推定

**9 月 8 日（月）**

　座長：Obrochta Stephen（S5-11～13），近藤玲介（S5-14～16），横山祐典・宮入陽介（S5-17～23）

S5-11　9:00-9:30 Helena L. Filipsson・Anna Broström（スウェーデン・ルンド大）・豊福高志（JAMSTEC）--- モデルと環境指標から解き明かす陸－水圏－人間圏相互作用

S5-12　9:30-9:45 廣瀬孝太郎（福島大）・後藤敏一（近畿大）・安原盛明（香港大）・三田村宗樹・吉川周作（大阪市大）--- 大阪湾における珪藻群集の時空間分布と完新世の環境変化

S5-13　9:45-10:15 斎藤文紀（産総研）--- デルタイニシアティブ：Sustainable Deltas 2015

S5-14　10:40-11:10 藤本 潔（南山大）・Kim Cohen（ユトレヒト大）・宮城豊彦（東北学院大）---海岸低湿地における地形、生物、人為プロセス

S5-15　11:10-11:25 宮城豊彦（東北学院大）--- マングローブ湿地における地形、生物、人為プロセス

S5-16　11:25-11:55 片岡香子（新潟大）--- 火山性大規模洪水の堆積学と地形学 : 扇状地・段丘形成の別視点

S5-17　14:30-15:00 田村 亨（産総研）--- 南シナ海の沿岸堆積システムにおけるモンスーンの影響

S5-18　15:00-15:15 横山祐典（東京大）--- 過去の海水準復元と古気候

S5-19　15:15-15:30 渡邊隆広・奈良郁子（東北大）・松中哲也（筑波大）・山崎慎一・土屋範芳・箕浦幸治（東北大）・中村俊夫（名古屋大）・掛川 武（東北大）・Nathalie FAGEL（リエージュ大）・Liping ZHU・Junbo WANG（中国科学院）・西村弥亜（東海大）--- チベット高原プマユムツォ湖堆積物の無機化学組成による過去約 12,500 年間のモンスーン活動の復元

S5-20　15:30-15:45 菅 浩伸（九州大）・浦田健作（大阪経法大）・長尾正之（産総研）・堀 信行（奈良大）・藤田和彦（琉球大 理学部）・横山祐典（東京大 ）・中島洋典（有明高専）・橋 倫也（九州大）・後藤和久（東北大）・鈴木 淳（産総研）--- 石垣島名蔵湾における沈水カルスト地形の発見とその第四紀学的意義

S5-21　15:45-16:00 葛西未央・小岩直人（弘前大）--- 八郎潟における完新世中期の砂州の形成とラグーン環境の成立

S5-22　16:00-16:15 Obrochta Stephen・横山祐典（東京大）--- コア写真からの色彩値（L\*、a\*、b\*）への変換ソフトウェアの紹介

S5-23　16:15-16:30 石輪健樹・横山祐典・宮入陽介・Obrochta Stephen・佐々木猛智（東京大）・鈴木 淳（産総研）・池原 実（高知大）・池原 研（産総研）・木元克典（JAMSTEC）・Julien.Bourget（西オーストラリア大）・松崎浩之（東京大）--- 最終氷期最盛期における Bonaparte 湾の相対的海水準変動

**●ポスターセッション**　 会場：大気海洋研究所１階　エントランスホール

（括弧のギシリャ数字は関連のシンポジウムの番号を示す）

**9 月 6 日（土）**

P1-01 小松原 琢（産総研）--- 房総半島・久留里～大多喜間の上総層群上部の予察地質図（Ⅰ）

P1-02 南雲直子（土木研）・久保純子（早稲田大）・須貝俊彦（東京大）--- さいたま市田島ヶ原サクラソウ自生地周辺の土地利用と表層地質（Ⅱ）

P1-03 小椋純一（京都精華大）--- 森林火災跡地に残された微粒炭等炭化物についての基礎的研究（4）（Ⅱ）

P1-04 丹羽雄一・遠田晋次（東北大）・須貝俊彦（東京大）--- 陸前高田平野完新統の堆積過程と推定される地殻変動（Ⅲ）

P1-05 石村大輔（東北大）・宮内崇裕（千葉大）--- 宮城県南三陸町大沼に分布する古津波堆積物とその規模に関する予察（Ⅲ）

P1-06 重野聖之（明治コンサルタント）・七山 太・渡辺和明・吉川秀樹（産総研）・長谷川 健（茨城大）・池田保夫（北海道教育大）・五十嵐八枝子（北方圏古環境研究室）・秋葉文雄（珪藻ミニラボ）・内田康人（道総研・地質研）・石渡一人（別海町郷土資料館）--- 風蓮湖、走古丹バリアースピットの地形発達史から読み解く根室海峡沿岸域の完新世海面変動と地殻変動（Ⅲ）

P1-07 奈良郁子・渡邊隆広・掛川 武・山崎慎一・井上千弘・土屋範芳（東北大）--- 安定硫黄同位体組成（δ34S）を指標とした東北地方太平洋沖地震による津波堆積物の供給源推定（Ⅲ）

P1-08 渡邊隆広・土屋範芳・山崎慎一・細田憲弘（東北大）・澤井祐紀（産総研）・駒井 武（東北大）・中村俊夫（名古屋大）・奈良郁子（東北大）・東北大学津波堆積物調査グループ --- 無機化学組成にもとづく歴史津波堆積物の供給源推定（Ⅲ）

P1-09 佐藤善輝（産総研）・安江健一（日本原子力研究開発機構）・須貝俊彦（東京大）--- 後期更新世以降における岐阜県大湫盆地の堆積環境変遷（Ⅳ）

P1-10 朴木英治（富山市科学博）・堀川恵司（富山大）・渡辺幸一（富山県立大）--- 立山弥陀ヶ原湿原の泥炭の堆積年代と含まれる強熱残渣粒子の存在量（Ⅳ）

P1-11 渋谷早苗・兵頭政幸・北場育子（神戸大）・柏谷健二（金沢大）--- チベット高原東部 Qionghai湖周辺域の環境変化と人間活動（Ⅳ）

P1-12 永安浩一・公文富士夫（信州大）・大谷裕美（元信州大）--- 後期更新世高野層ボーリングコアTKN-2004 の珪藻化石群集解析（Ⅳ）

P1-13 豊田和弘（北海道大）・米田成一（科博）・米延仁志（鳴門教育大）--- 小川原湖コア堆積物中のSr 同位体比－古塩分濃度の復元指標（続報）（Ⅳ）

P1-14 内藤慶一（東京大 大気海洋研）・横山祐典（東京大 大気海洋研）・高橋理美（東京大 大気海洋研）・中野孝教（地球研）・竹村恵二（京都大）--- 琵琶湖湖底堆積物中の微量元素同位体からの集水域環境復元（Ⅳ）

P1-15 滝沢侑子・卜部 輔・公文富士夫（信州大）--- 日本海、隠岐堆コア（MD01-2407）の過去 60 万年間の有機炭素量変動とその意味

P1-16 菅沼悠介（極地研）・三浦英樹（極地研）・Albert Zondervan（GNS，NZ）・奥野淳一（極地研）--- 第四紀における東南極氷床高度の低下と南極寒冷圏システム進化との相互作用（Ⅴ）

P1-17 中野恒佑・北場育子（神戸大）・加藤茂弘（人と自然博）・兵頭政幸（神戸大）--- 大阪湾堆積物コアの花粉記録から見た海洋酸素同位体ステージ 11 の気候変化（Ⅴ）

P1-18 前垣内健太・北場育子・兵頭政幸（神戸大）・佐藤裕司（兵庫県立大）--- 大阪湾堆積物コアの珪藻分析による MIS 19 の海面変化（Ⅴ）

P1-19 高橋尚志・白井正明（首都大）--- 礫の大きさと円磨度からみた氷期・間氷期の河成段丘構成層の違い－多摩川の河成段丘を例にして－（Ⅴ）

P1-20 及川輝樹（産総研）・古澤 明（古澤地質）--- 黒部川扇状地の段丘形成時期（Ⅴ）

P1-21 齋藤めぐみ（科博）・中川 毅（立命館大）・多田隆治（東京大）・水月湖 2006 年プロジェクトメンバ --- 福井県水月湖堆積物に含まれる珪藻群集から推定された環境変動（Ⅴ）

P1-22 近藤玲介（明治大）・五十嵐八枝子（北方圏古環境研）・塚本すみ子（Leibnitz Institute）--- 北海道北部、頓別平野周辺における海成／河成段丘の pIRIR 年代と MIS 9 海成層の花粉記録（Ⅴ）

P1-23 古川理央・須貝俊彦（東京大）・松本 良（明治大）--- MD-179 コアの元素分析に基づく第四紀後期の日本海上越沖の堆積環境復元（Ⅴ）

P1-24 宮入陽介・阿瀬貴博・横山祐典（東京大）--- 放射性炭素年代測定における安定炭素同位体比測定の重要性（Ⅴ）

P1-25 土生居 弘・藤井昭二（富山大名誉教授）--- 日本列島周辺の海底林（一般）

P1-26 清永丈太（東京都）--- クロマツ林の花粉粒生産量（一般）

P1-27 天野敦子・板木拓也（産総研）--- 沖縄トラフ－琉球海溝海域の過去 25 万年間の堆積環境変化（一般）

P1-28 早瀬亮介・小原圭一・小川俊之（加速器分析研究所）・辻 智大・池田倫治（四国総研）・大西耕造・西坂直樹（四国電力）--- 四国西部宇和盆地において AT の上下に堆積した有機質堆積層の 14C 年代（一般）

P1-29 七山 太（産総研）・中里裕臣（農工研／産総研）・大井信三（国土地理理院／産総研）・中島 礼（産総研）--- 5 万分の 1 地質図幅「茂原」の第四紀地質（一般）

P1-30　細野 衛（東京自然史研究機構）・佐瀬 隆（北方ファイトリス研究室）--- 広原遺跡群土層の植物珪酸体記録による MIS5a 以降のササ類の地史的動態（Ⅱ．ポスターの展示位置はP1-03の隣となります）

**9 月 8 日（月）**

P2-01 渡邊隆広・土屋範芳・後藤章夫・平野伸夫・宇野正起（東北大）・松中哲也（筑波大）・細田憲弘（東北大）・東北大学蔵王御釜調査グループ --- 蔵王火山御釜湖沼および丸山沢噴気地熱地帯温泉水の地球化学分析（一般）

P2-02 白井正明（首都大）・大村亜希子（東京大）・林崎 涼・宇津川喬子（首都大）--- 20 世紀後半における新潟沖日本海深海底での堆積速度変化（一般）

P2-03 佐藤裕司（兵庫県立大）・小原正顕（和歌山県立自然博）・加藤茂弘（兵庫県立人と自然の博）・伊藤 謙・髙橋京子・上田貴洋・橋爪節也・江口太郎（大阪大）・渡辺克典（きしわだ自然資料館）・小栗一輝（大阪大）・林 昭次（大阪市立自然史博）・小林快次（北海道大）--- マチカネワニ化石産出層（大阪層群中部更新統）における堆積環境の再検討（一般）

P2-04 五島朋子・佐竹健治・須貝俊彦・石辺岳男・原田智也・室谷智子（東京大）--- 15 世紀以降の歴史津波堆積物についての堆積年代推定－三陸海岸宮古市沼の浜の例－（一般）

P2-05 宇津川 徹（カテナ研究所）--- テフラ中の動物珪酸体について－同定とその意義－（一般）

P2-06 陳 永利・阿部彩子（東京大）・大石龍太（極地研、東京大）・高橋邦生（海洋気候）--- 亜氷期と亜間氷期の気候シミュレーション：モデル結果及びプロキシデータとの比較（一般）

P2-07 北田奈緒子（地域地盤環境研）・渡辺公一郎（九州大）・田中礼司（地域地盤環境研）・西島 潤・藤光康宏・下山正一（九州大）・井上直人（地域地盤環境研）--- 福岡平野におけるボーリングデータベースの作成と地盤情報から見る地域の特徴（一般）

P2-08 山市 剛・須貝俊彦（東京大）--- 東北日本、山田平野における完新世の環境変遷（一般）

P2-09 窪田 薫・横山祐典（東京大）・石川剛志（JAMSTEC）・鈴木 淳（産総研）--- 20 世紀の北西太平洋の海洋酸性化と小笠原父島で得られたハマサンゴとの関係（一般）

P2-10 竹本弘幸（拓殖大）--- 史料から見た磐梯山噴火の再検討（その 5）（一般）

P2-11 佐々木夏来・須貝俊彦（東京大）--- 安比高原奥の牧場の凹地形成と湿地の発達過程（一般）

P2-12 井内美郎（早稲田大）・山田和芳（ふじのくに地球環境史ミュージアム）・里口保文・芳賀裕樹・林 竜馬（滋賀県立琵琶湖博）--- 琵琶湖愛知川沖試料から推定される過去約 5 万年間の湖水位変動（一般）

P2-13 松下隼人・兵頭政幸・高崎健太・北場育子（神戸大）・加藤茂弘（人と自然博）・北村晃寿（静岡大）・岡田 誠（茨城大）--- 上総層群国本層の定方位コアの discrete 試料の古地磁気分析（一般）

P2-14 長井大輔（雲仙岳災害記念館）--- 雲仙普賢岳噴火災害の埋没民家で発見されたかまど跡と被災物の保存活用（一般）

P2-15 寺口慧介・鈴木毅彦（首都大）・中山俊雄（東京都）--- クリプトテフラを用いたテフロクロノロジーによる武蔵野台地北西部、金子台・所沢台の編年（一般）

P2-16 趙 哲済（大阪文化財研）・中条武司（大阪自然史博）・松田順一郎（鴻池新田会所）--- 難波砂州における縄文時代後期以降の古地理の変遷（一般）

P2-17 横田彰宏・鈴木毅彦（首都大）--- 西南北海道、瀬棚平野における下部更新統テフラ（一般）

P2-18 向山千晴・鈴木毅彦（首都大）--- 榛名火山噴出物からみた 6 世紀前後の利根川流路の検討（一般）

P2-19 井上直人・北田奈緒子（地盤研究財団）・竹村恵二（京都大）--- ボーリングデータベースおよび数値シミュレーションによる上町断層傾斜角の検討（一般）

P2-20 三浦知督（金沢大）・鴈澤好博（北海道教育大）・長谷部徳子（金沢大）--- UV-TL 法を用いた活断層ガウジの測定（一般）

P2-21 村田昌則・鈴木毅彦（首都大）--- 東京都目黒区林試の森公園および品川区戸越地下の上総層群中に挟在するテフラ（一般）

P2-22 西内李佳（千葉大）・新井悠介（明治コンサルタント）・百原 新（千葉大）・近藤玲介（明治大）・宮入陽介・横山祐典（東京大）--- 甲府盆地南東部の山地域の最終氷期最寒冷期前後の古植生（一般）

P2-23 長井雅史（防災科研）・金成太郎（日本公園緑地協会）・柴田 徹（東海大）・土屋美穂（明治大）・弦巻賢介（明治大）・杉原重夫（明治大）・八幡正弘（マイジオ）--- 北海道白滝地域から噴出した大規模テフラとカルデラ状盆地の形成について（一般）

P2-24 添田雄二（道開拓記念館）・渡邊 剛（北海道大）・宮地 鼓（苫小牧市美博）・上中央子（奈文研）・杉山真二（古環境研）・渋谷綾子（歴博）・青野友哉・永谷幸人（伊達市噴火湾文化研）北海道伊達市有珠における小氷期最寒冷期の古環境－陸上および海洋環境、積雪量等の復元と人との関わり－（一般）

P2-25 納多哲史（京都大）・水田 亮・出牛 真（気象研）・小寺邦彦（名古屋大）・吉田康平（気象研）・鬼頭昭雄（気象研・筑波大）・村上茂教（気象大学校）・足立恭将（気象研）・余田成男（京都大）--- 地球システムモデルにおけるオゾンの取り扱いが古気候に与える影響 : 完新世中期の南極（一般）

P2-26 七山 太（産総研）・前野 深（東京大）・中川正二郎・佐々木洋之（屋久島地学同好会）・面 将道（屋久島町教育委員会）・下司信夫・渡辺和明（産総研）・成尾英仁（武岡台高校）・小林哲夫（鹿児島大）--- 屋久島北東部の完新世海面変動から見た鬼界カルデラ噴火津波痕跡についての一考察（一般）

P2-27 木田千鶴・苅谷愛彦（専修大）・清水長正（駒澤大）--- 秩父山地、瑞牆山西麓における緩斜面群の発達と年代（一般）